

行方市シティプロモーション指針

(概要版)



■行方（なめがた）のシティプロモーション

行方（なめがた）の魅力を市内外の人に知ってもらい、『ひと・物・資金・情報』などの地域資源を活用し、地域再生、観光振興、住民協働などに取り組むことを意味します。

■指針策定の目的

次世代を担う子供たちなどに安全と安心をつなぎ、みんなで感動と感謝のまちをつくっていくために策定しました。

■指針の取組期間

総合戦略実施期間に合わせて、平成31(2019)年度から平成33(2021)年度までの3年間とします。3つの大きな柱を立て、各年度に重点推進テーマを決め活動します。毎年度進捗状況を確認しながら適宜計画の見直しを行います。

■指針の3本柱

推進テーマである「『行方ならではの価値』の共有」をより具体的に実施していくために、シティプロモーションの展開戦略（本指針ではこれを「柱」と呼びます）を3つ定め、各施策・取組を体系的に推進します。

- ①「行方ブランド」の構築とその普及促進
- ②「行方」の魅力を醸成・発信（市内&市外）
- ③地域経済活性化（地域ビジネス創出と域内消費モデル確立）

■各年度重点（優先）推進事項（進行スケジュール）

平成 31（2019）年度推進テーマ

「関心人口※1 拡大、初訪者を増やす」（認知度拡大）

平成 32（2020）年度推進テーマ

「行方に来てもらい、消費してもらう」（受入れ基盤確立）

平成 33（2021）年度推進テーマ

「行方のコアファンとして、地域の担い手又は消費者として
活躍してもらう」（域内消費モデル確立）

※1 関係人口とも呼ばれ、地域に関わってくれる人口のこと。

年度	重点テーマ	推進順位
平成 31 (2019)	認知度拡大	①「行方」の魅力を醸成・発信 ②「行方ブランド」の構築とその普及促進 ③地域経済活性化
平成 32 (2020)	受入れ基盤確立	①「行方」ブランドの構築とその普及促進 ②「行方」の魅力を醸成・発信 ③地域経済活性化
平成 33 (2021)	域内消費モデル確立	①「行方ブランド」の構築とその普及促進 ②地域経済活性化 ③「行方」の魅力を醸成・発信

■行方市シティプロモーション推進体制

次の3組織において、連携や情報共有などをしながら、効果的かつ効率的なシティプロモーション活動を推進します。

① 行方市シティプロモーション推進懇談会

平成30(2018)年度の行方市シティプロモーション指針策定に携わった市内外の「産・学・官・金・労・言」で組織する懇談会委員を中心に、新たな組織として推進懇談会を立ち上げます。

② テーマ別タスクフォース※2

シティプロモーションの重点(優先)6項目を遂行するため、テーマに沿ったタスクフォースを設置します。若手を中心に「老・壮」も巻き込み、オール行方体制を構築します。

※2 特定の課題を達成するために一時的に設置される組織のこと。

③ 行方市シティプロモーション推進委員会

市職員で組織する委員会です。推進懇談会やタスクフォースのスムーズな進行や人と人とのマッチングなど、サポート業務を中心に行います。

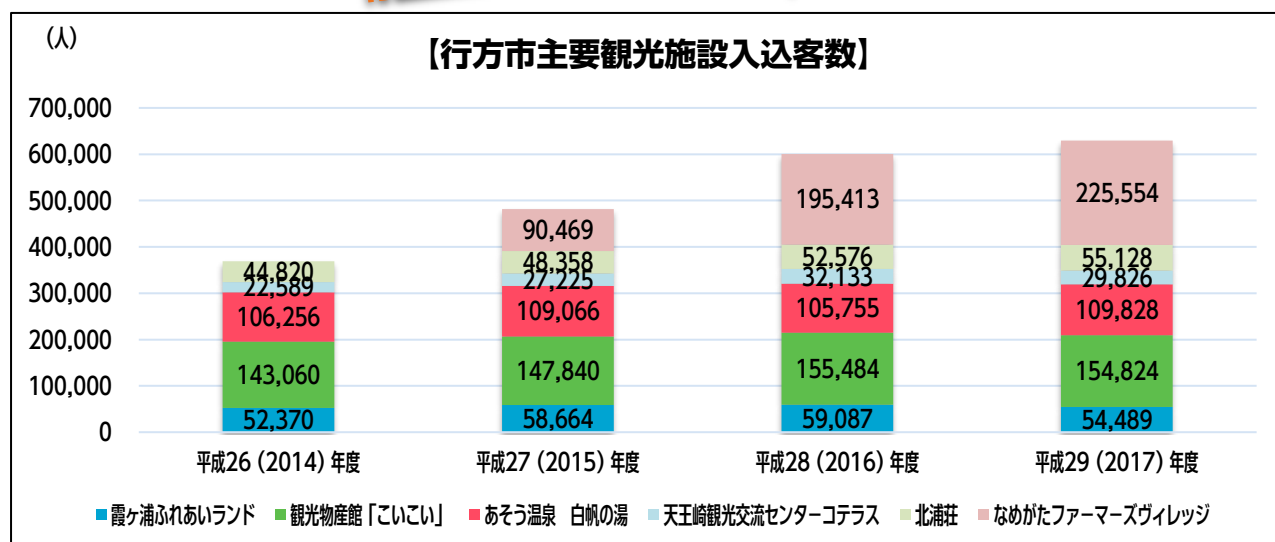
■行方（なめがた）のここに魅力がある！！

（１）観光客が年々増加中

平成26(2014)年度
約35.6万人



平成29(2017)年度
約63.0万人



（２）農業体験型テーマパーク『なめがたファーマーズヴィレッジ』

近年各市町村で廃校となった校舎を活用し、道の駅やコミュニティ施設などが誕生していますが、当市はその先駆けです。

「なめがたファーマーズヴィレッジ」は、市内外はおろか国外からも年間30万人近い人が来訪します。市内の観光客のほとんどが、当テーマパークへの来訪者です。



（３）自慢のサツマイモ

肥沃な台地で栽培される60品目以上の農作物の中でも、自慢の一品は『サツマイモ』です。ＪＡなめがた（現ＪＡなめがたしおさい）甘藷部会連絡会が、日本農業賞大賞（平成29(2017)年2月）と農林水産祭天皇杯（平成29(2017)年10月）を受賞し、名実共に『日本一』といえます。

最近スーパーなどでよく見かける近代『焼き芋』機械を開発し、市場に広めたのは行方（なめがた）です。



(4) 「なめテレ」と地元で楽しめるエンターテインメント

「防災対応型エリア放送(なめがたエリアテレビ。通称：なめテレ)」は、関東初の自治体全域を視聴範囲とするエリア放送です。番組づくりやコンテンツづくりのほか、出演者として、市民も情報発信に参加できます。

当市では、「よしもとクリエイティブ・エージェンシー」と「地域活性化に関する事業連携協定」を締結するなど、芸能事務所等との連携により、本来都心へ出向かなければ楽しめない芸能・芸術活動を地元にながら楽しめます。一部は、なめがたエリアテレビからも視聴が可能であり、地元にながら全国レベルの文化活動に触れる事ができることも自慢のひとつです。



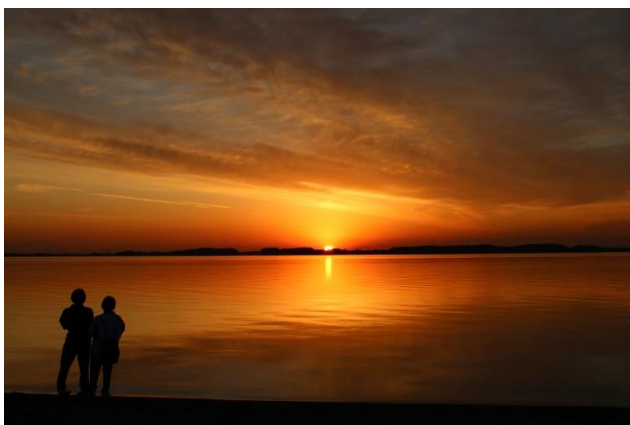
○平成30(2018)年度の主な文化・芸術公演、市民参加型番組等

「奈良崎正明の昼カラ歌っちゃいまショー♪」、「Xmasなめがた創生落語会」、「大晦日～なめテレ紅白歌合戦」、「春の行方浪曲公演会・春野恵子「浪曲一直線」」、「吉本コメディ劇場inなめがた」、「行方お笑いライブ」など

(5) 2つの湖と3つの橋と4つの湯「2 LAKE & 3 BRIDGE & 4 SPA」

当市は自然環境に恵まれ、『霞ヶ浦』と『北浦』という2つの湖。2つの湖に架かるまちとまちを結ぶ3つの橋(霞ヶ浦大橋、鹿行大橋、北浦大橋)。湖畔には湖を臨める特色ある4つの湯(あそう温泉白帆の湯、北浦温泉北浦荘、北浦宝来温泉つるるんの湯宿、別邸「翠風荘」慶山 なめかた温泉玉造の湯)があります。

都心から90分圏内でリゾート気分が味わえるのも、まちの魅力のひとつといえます。



【シティプロモーション指針への問合せ先】

〒311-3892 行方市麻生 1561 番地の9 行方市 政策推進室
TEL 0299-72-0811・FAX 0299-72-2174・HP <http://www.city.namegata.ibaraki.jp/>